

海外の大学に出願するまでの流れは？

出願までのプロセス

海外の大学に出願するために必要なこと

海外の大学は、入学時期や、出願に必要な書類が日本の大学と異なります。

早く準備すれば時間が十分にとれ、奨学金の申請などにも間に合いやすくなります。出願するまでにいつ頃何をすべきか、まずは大きな流れを把握して進めると良いでしょう。

ここでは学年別に、準備のステップを解説します。

高校1年生

●学校の教科をしっかり学ぶ

出願には、高校時代の成績の平均スコアが必要になります。

英語はもちろんのこと、他の教科も力を付けておきましょう。

●留学する目的や動機を考える

海外の大学に進学する上で重要なことは、自分自身の留学の目的や動機は何かを意識することです。大学で学びたいこと、留學生活に期待すること、将来の展望など、自分の気持ちを見つめ、留学する意義を考えましょう。

高校2年生

●出願用テスト対策

名門大学への進学を目標とする場合、SATのスコア提出が課されている場合があります。早めに試験対策をし、受験しましょう。

SATテストとは：

College Board が世界各地で実施するテスト。

内容は論理（読解・ライティング）と数学で、回答は選択式です。

日本では年5回実施しています。

College Board



●留学先の国や大学の情報収集

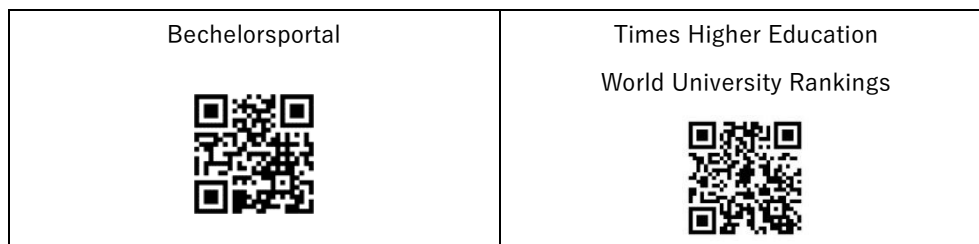
留学先の国や地域の留学システムや大学の種類、そしてどのような大学があるかを調べましょう。大使館や公的機関の Web サイトなどには、多くの情報が掲載されています。

例えばアメリカには 2 年制大学と 4 年制大学があり、それぞれ学位を取得することができます。また 2 年制大学から 4 年制大学へ編入する方法もあります。

イギリスやオーストラリア、ニュージーランドでは、大学では専門課程のみを 3 年間で学びます。そのため日本の高校生は、大学進学準備コース等を修了した上で大学に進学する必要があります。

大学で学びたい分野が大まかに決まっている人は Bechelorsportal で、世界の 10 万を超える学士コースを、分野や国で絞り込んで検索ができます。

トップレベルの大学への進学を目標としたい人は世界大学ランキングで、どのような大学があるかを見てみましょう。Times Higher Education の世界大学ランキングなどでは、総合ランキングはもちろんのこと、専攻別、地域別などのランキングがあり、より具体的に把握することができます。



●語学試験対策

大学ごとに求める試験の種類、語学力のスコアは異なります。必要な語学試験対策をし、受験しましょう。

英語の場合、代表的な試験としては IELTS™ と TOEFL® があり、世界の大学で広く採用されています。

高校 3 年生

●出願する

9 月が入学時期の場合、11 月～翌年 3 月が出願時期です。出願に必要な書類は、指定の入学願書、高校の成績証明書、語学の試験スコア、エッセイ、推薦状、財政能力証明書などです（大学により異なる場合があります）。

推薦状は担任や英語の先生にお願いしてみましょう。エッセイは必ずネイティブのチェックを受け、入念に準備してください。

合格通知を受け取ることができたら、渡航の準備です。高校を卒業した後、大学の入学時期より早めに渡航して語学研修を受け、現地の環境や英語による授業に慣れておくのも良いでしょう。

上記のスケジュールに間に合わない場合

上記は、出願までの主な流れと目安の時期です。しかし、必ずしもそのとおりでなくても構いません。海外の大学は入試がないため受験対策の必要がなく、例えば、3年生になってから海外の大学進学を志しても、出願に間に合わせることはできます。

まずは思い描く将来や、どんな大学に行きたいかを考えることが大切です。もし海外の大学に行きたいという気持ちがあれば、先生や保護者に相談しながら、諦めずに出願を目指して下さい。